

消火栓が使えない！ - 西日本防災システム

2013 09 05

8月21日佐渡市河原田本町で20日深夜から発生した住宅など4棟を全半焼した火災で、現場近くの消火栓が使えなかったことが分かったそうです。佐渡市は、消防が点検を怠っていたことを認めて、甲斐元也市長が5日の記者会見で謝罪したそうです。

佐渡市消防本部によりますと、火災発生時、現場の消火栓1カ所が開かず、近くの川から水をくみ上げて消火せざるを得なかったようです。消火栓が収納されている国道上のふたは開きましたが、消火栓のバルブがさびたり砂をかんでいたりしたため、固くなって開けられなかったようです。このため消火作業が5分ほど遅れたそうです。

市内の消火栓は少なくとも年2回、フタの開閉や水が出るかなどを消防が点検しているそうですが、今回の火災現場の消火栓は、交通量が多い国道にあることから点検しにくいとして、2011年6月を最後に目視点検のみで済ませていたようです。また、過去に点検で水を出した際、消火栓内にたまった汚れた水が水道水に混じり、住民から苦情が寄せられたことがあったため、これも開栓・水出し点検をしなかった理由だといいます。

甲斐市長は「重大なミス。大変申し訳ない」と陳謝し、市内約2100カ所の消火栓の緊急点検を指示したそうです。

佐渡市消防本部の深野俊之消防長は「点検表を作り、いつ、どの場所をチェックしたかを確認し、態勢強化に努めたい」と説明しました。島内にある全ての消火栓の緊急総点検を実施したそうです。今回問題となった消火栓は鎮火後の8月21日に点検し、開栓できるようにしたようです。

日頃の点検作業は 私達の生活に係わるあらゆるもので 大変重要ですね！

私共を含めて 同業者の方！ 消防設備点検もしっかりお願い致します！



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

